

## 企業理念

# いのち キョーリンは生命を慈しむ心貫き、人々の健康に 貢献する社会的使命を遂行します。

私たちは1923年の創業以来、病気やその苦悩から人々を救うため、生命を慈しむ心を持って健康に貢献することを社会的使命として歩み続けてきました。これからもこの創業の精神に則り、医療ニーズに応える価値の高い新薬を継続的に提供し、人々の健康に貢献してまいります。

## コーポレートメッセージ

### 健康はキョーリンの願いです。

私たちの恒久的な使命である「健康への貢献」。いつの時代にも人々の健康を願い、社会の一員としてその責任を果たすという当社グループの姿勢と社員全員の強い意志がこのメッセージに込められています。

#### 編集方針

本報告書は、財務情報に加え、経営戦略、事業概況、サステナビリティ活動等の非財務情報を総合的に記載した「統合報告書」として編集しました。株主・投資家をはじめとした幅広いステークホルダーの皆様当社グループの活動についてより深く理解していただくことを目指しています。詳細な情報につきましては、コーポレートサイトにて開示しています。

【詳細情報】

株主・投資家向け情報 <https://www.kyorin-pharm.co.jp/ir/>

有価証券報告書 <https://www.kyorin-pharm.co.jp/ir/library/report.shtml>

コーポレート・ガバナンス <https://www.kyorin-pharm.co.jp/company/governance.shtml>

サステナビリティ <https://www.kyorin-pharm.co.jp/sustainability/>

#### 報告対象範囲

対象期間：2023年度(2023年4月～2024年3月)※一部、2024年度の活動についても掲載しています。

対象組織：杏林製薬株式会社及びグループ会社

#### 参考ガイドライン等

- ・IFRS財団「国際統合報告フレームワーク」
- ・GRI「サステナビリティ・レポート・スタンダード」
- ・ISO26000
- ・経済産業省「価値協創ガイダンス」
- ・環境省「環境報告ガイドライン」等

#### 将来見通しに関する注意事項

本報告書には、当社グループに関する業績見通しや目標・計画等、将来に関する事項が含まれています。これらの記述は、本資料作成時点において入手可能な情報や予測に基づく、当社グループの仮定や見通し等の判断によるものであり、既知または未知のリスク及び不確実性が内在しております。従って、その後発生した種々の要因により、実際の業績や開発品の進捗・成否、その他の見通し等が記述内容と大きく異なる可能性があります。また医薬品(開発中のものを含む)に関する情報が含まれておりますが、その記述は宣伝広告や医学的アドバイスを目的としているものではありません。

## CONTENTS

キョーリン製薬グループの歩み.....	2	人的資本の充実／多様な価値観を尊重した働き方改革の推進.....	39
キョーリン製薬グループの全体像.....	4	健康経営の推進.....	42
社長メッセージ.....	6	環境に配慮した事業活動.....	44
価値創造プロセス.....	12	コンプライアンスの徹底.....	48
マテリアリティ.....	14	コーポレート・ガバナンスの強化.....	50
ステークホルダーとの価値共有.....	16	ステークホルダーとの関係強化.....	56
長期ビジョン「Vision 110」及び 中期経営計画「Vision 110 -Stage1-」の概要.....	18	10年間の連結財務ハイライト.....	58
財務担当役員メッセージ.....	20	パフォーマンス・ハイライト.....	60
「価値創造」マテリアリティ.....	22	役員紹介.....	64
医療ニーズに応える価値の高い製品の創出.....	22	会社概要及び株式情報.....	66
製品価値の最大化.....	26		
高品質な医薬品の安定供給.....	32		
SPECIAL FEATURE: 私たちは、これからも挑戦する..	36		
「価値創造を支える基盤」マテリアリティ.....	38		



#### 杏林及びキョーリンの由来と商号について

社名(商号)については、真の医療を表す「杏林」の二文字が起源となっております。「杏林」の名は、中国の古事(神仙伝)に由来しています。時代がどのように移り変わろうと、人々の健康を願うというキョーリン製薬グループの想いを表しています。

#### 杏林伝説

古代中国。貧しい患者からは治療費の代わりに杏の苗を受け取ったという伝説の名医、董奉(とうほう)。日ごとに増える杏の木は、やがて大きな林となり、生命を慈しむ董奉の心も人々の間に広がっていきました(神仙伝より)。それから董奉の徳を称え、「杏」または「杏林」の字句が一般に医、あるいは医療等を表す言葉として中国から日本に伝わりました。